

科目名	ロボット工学			担当教員	田嶋 眞一		
学年	電子制御5年	学期	前期	履修条件	選択	単位数	1
分野	専門	授業形式	講義	科目番号	07C05_30741		
学習目標	<p>あらゆる工業分野において、生産の面では産業ロボットによる工程の自動化・省力化が広く浸透し、いまや産業界を支える技術の大きな柱となっている。このロボットマニピュレータの機構解析と制御に関する基礎的事項について理解する。</p> <p>ロボットを制御対象として捉え、制御系設計のもととなるロボットの動特性、すなわち状態方程式（出力方程式）を求める方法を習得する。</p>						
進め方	教科書に沿った講義を行う。授業中適宜演習を行う。復習を忘れないこと。期間中3回程度のレポート提出を課す。						
履修要件	特になし						
学習内容	学習項目（時間数）			学習到達目標			
	1. ロボットシステムについて (2) 2. ロボットの機構と図式表現 (2) 3. 物体の位置と姿勢の表現 (2) 4. 同次変換（3次元アフィン変換）(2) 5. リンク座標系の設定 (2) 6. リンク座標系の設定（演習）(2) 7. リンクパラメータ (2)			ロボットの機構を理解し、その図式表現ができる。 D2:1,D2:2,D2:4,D2:5 物体の位置と姿勢の表現を理解し、その取り扱いに慣れる。 D2:1,D2:2,D2:4,D2:5 ロボットに対してリンク座標系を設定し、リンクパラメータを求めることができる。 D2:1,D2:2,D2:4,D2:5,E2:1,E2:2,E2:3			
学習内容	8. 前期中間試験 (2)						
	9. 前期中間試験の返却と解説 (2) 10. 順運動学問題（出力方程式）(2) 11. 逆運動学問題 (2) 12. ヤコビ行列 (2) 13. 与えられた手先速度と関節速度 (2) 14. 手先にかかる力と等価な関節駆動力 (2) 15. 前期まとめ (2)			出力方程式を求める順運動学問題を解くことができる。 D2:1,D2:2,D2:4,D2:5,E2:1,E2:2,E2:3			
学習内容	16. 前期期末試験 (2)						
学習内容	17. 前期期末試験の返却と解説 (2)						
評価方法	定期試験を60%、レポートを20%、平常点（出席率、授業態度など）を20%の比率で総合評価する。						
関連科目	制御工学，機械力学，応用物理，応用物理						
教材	教科書：吉川恒夫著「ロボット制御基礎論」 コロナ社						
備考	ロボット工学の履修にはロボット工学の履修が必要。わからないことは、授業中適宜質問すること。放課後は、E-mail[tashima@dc.takuma-ct.ac.jp]で予約することが望ましい。						